学校名	: 大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:ペットビジネス学科	ļ
教科名:	グルーミング実習(①から⑨)	塩田恵理子 実務経験有	■ 1年前期	
到達	前期終了時の実技試験で、ダックス1			18単位
目標	バリカン・ブラッシング・シャンピン	ング・ベイジング) ī法・基準)出席率		288時数
0	(750-15CH IMPO 7.	授業内		
1	グルーミング概論・講義			
2	グルーミング概論・講義			
3	グルーミング概論・講義			
4	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習 ダックス1人で2時間以内を目指す。	を2週行い、その後1人	で1頭の実習を行う。	
5	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習 ダックス1人で2時間以内を目指す。	を2週行い、その後1人	で1頭の実習を行う。	
6	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習 ダックス1人で2時間以内を目指す。	を2週行い、その後1人	で1頭の実習を行う。	
7	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習: ダックス1人で2時間以内を目指す。	を2週行い、その後1人	で1頭の実習を行う。	
8	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習: ダックス1人で2時間以内を目指す。	を2週行い、その後1人	で1頭の実習を行う。	
9	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習 ダックス1人で2時間以内を目指す。	を2週行い、その後1人	で1頭の実習を行う。	
10	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習 ダックス1人で2時間以内を目指す。	を2週行い、その後1人	で1頭の実習を行う。	
11	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習で ダックス1人で2時間以内を目指す。	を2週行い、その後1人	で1頭の実習を行う。	
12	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習 ダックス1人で2時間以内を目指す。	を2週行い、その後1人	で1頭の実習を行う。	
13	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習 ダックス1人で2時間以内を目指す。	を2週行い、その後1人	で1頭の実習を行う。	
14	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習で ダックス1人で2時間以内を目指す。	を2週行い、その後1人	で1頭の実習を行う。	
15	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習: ダックス1人で2時間以内を目指す。	を2週行い、その後1人	で1頭の実習を行う。	
16	前期テスト			
	1			

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ		前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
れる。		その他
・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50% 未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換: A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出:(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計+総単位数 (履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来 なかった学生のため の再試験を実施。	授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名	: 大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:ペットビジネス	
教科名::	ブルーミング実習(⑩から⑱)	塩田恵理子 実務経験有	■ 1年後期	
到達 目標	後期終了時の実技試験で、トイプー カットが2.5時間以内に仕上げられる (成績評価のナ			18単位 288時数
0	(770)ZZZ I Ima	授業内		
1	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ 合格者はプードル等のトリミング犬種の ング犬種のベーシック及びトリミングを)ベーシックを行う。ff		
2	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ合格者はプードル等のトリミング犬種の ング犬種のベーシック及びトリミングを)ベーシックを行う。ff		
3	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ合格者はプードル等のトリミング犬種の ング犬種のベーシック及びトリミングを)ベーシックを行う。﴿		
4	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ合格者はプードル等のトリミング犬種の ング犬種のベーシック及びトリミングを)ベーシックを行う。﴿	を不合格者はダックスのベーシックを 也2回の実習はプードル、ヨーキー、	行い、 シーズー等のトリミ
5	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ 合格者はプードル等のトリミング犬種の ング犬種のベーシック及びトリミングを)ベーシックを行う。﴿		
6	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ合格者はプードル等のトリミング犬種の ング犬種のベーシック及びトリミングを)ベーシックを行う。ff		
7	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ合格者はプードル等のトリミング犬種の ング犬種のベーシック及びトリミングを)ベーシックを行う。ff		
8	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ 合格者はプードル等のトリミング犬種の ング犬種のベーシック及びトリミングを)ベーシックを行う。ff		
9	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ 合格者はプードル等のトリミング犬種の ング犬種のベーシック及びトリミングを)ベーシックを行う。﴿		
10	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ 合格者はプードル等のトリミング犬種の ング犬種のベーシック及びトリミングを)ベーシックを行う。ff		
11	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ 合格者はプードル等のトリミング犬種の ング犬種のベーシック及びトリミングを)ベーシックを行う。∱		
12	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ 合格者はプードル等のトリミング犬種の ング犬種のベーシック及びトリミングを)ベーシックを行う。﴿	E不合格者はダックスのベーシックを 也2回の実習はプードル、ヨーキー、	そ行い、 シーズー等のトリミ
13	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ 合格者はプードル等のトリミング犬種の ング犬種のベーシック及びトリミングを)ベーシックを行う。∱		
14	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ 合格者はプードル等のトリミング犬種の ング犬種のベーシック及びトリミングを)ベーシックを行う。ff		
15	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ合格者はプードル等のトリミング犬種の ング犬種のベーシック及びトリミングを)ベーシックを行う。∱		
16	後期テスト			

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ れる。	定期試験で合格出来 なかった学生のため	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
1000		その他
・ 水頼は5 段階で計画を177 A-優秀B-良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50% 未満) ・ GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Cポイント 本権・ A-2 R-2 C-1 D-0 E-0		授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名:	大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:	フラワービジネス	
教科名	: フラワーデザイン実習 (1)(2)(3)(4)(5)	西河友美 実務経験有	■ 1年前		
到達	フラワーデザインの知識や技術、	フラワー産業とし	ての花流通	を学ぶ	10単位
目標	(成績評価の方法・基準)出席率	・課題評価・筆記	テスト		160時数
回	授業内容			備考	
1	木下恵子氏デモンストレーション見学				
2	【A・B・C】造形バリエーション				
3	【A】テーブルセンターピース①(ラウ	ンド)			
4	【C】身に着けるオシャレな花(ツーボ	パイント)			
5	【A】年中行事の花(母の日)ラッピン	グ技術			
6	【A】テーブルセンターピース②(ホリ	ゾント)			
7	【B】ブライダルブーケ①(ラウンド)				
8	【B】ブライダルブーケ②(キャスケー	- F)			
9	【B】ブーケ(花束)①(スパイラル)				
10	【B】ブーケ(花束)②(パラレル)				
10					
11	【A】ジオメトリック(バーティカル)				
12	フラワーワーク①(フラワーデザイナー	-)			
13	フラワーワーク②(フラワーデザイナー	-)			
- 10					
14	フラワーワーク①(フローリスト) 				
15	フラワーワーク②(フローリスト)				
16	前期試験(木下恵子氏審査)				
10					
	成績評価の基準	再試験に関して		成績の評価の方	法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ れる。			前期終了時、	後期終了時に実施を行い、	学習状況の把握を行う。
・成績は5段階で評価を行う A-優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50% + 生法)		定期試験で合格出来 なかった学生のため の再試験を実施。		低い学生対象の補講を実施。 TENSION講座を実施。	姉妹校と共同で、多彩な授

学校名:	: 大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:フラワービジネス	
教科名	: フラワーデザイン実習 (1) (2) (3) (4) (5)	西河友美	■ 1年後期	
		実務経験有		
到達	年中行事の花を学ぶとともにNF	D検定3級取侍をF	目指す	10単位
目標				160時数
	(成績評価の方法・基準)出席率	・課題評価・筆記	テスト	
回	授業内容		備考	
4	フラワー装飾技能士3級【ABC】			
1				
	 N F D 3 級パターン【A】①(共同形態	<u>;</u>)		
2	11123			
	N 5 2 公元・8 カーン・「A】②(並行二壮	- ይ দ- ሓ/ ₁ \		
3	NFD3級パターン【A】②(並行-装	: 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		
4	NFD3級パターン【A】③(トライア	ンギュラー)		
"				
_	NFD3級パターン【B】①(丸い花束	()		
5				
	NFD3級パターン【B】②(モダンー	 -		
6				
7	【A】年中行事の花①(クリスマス リ	ングアレンジ)		
	【A】年中行事の花①(クリスマス リ	ー ス)		
8				
	┃ 【A】年中行事の花①(迎春門松アレン	(ジ)		
9				
	7、7 左上左右の世① / 仰去冷冻细练口	,		
10	【A】年中行事の花①(迎春注連縄飾り			
11	復興支援・花育事業参加			
''				
	NFD3級本番トライアル①			
12				
	 N F D 3 級本番トライアル①			
13	NFDS W本田エフコブルし			
14	NFD3級本番トライアル①			
15	NFD3級本番トライアル④			
15				
	 後期試験(木下恵子氏審査)			
16	BY ALBERTAN COLO. 1 LINE 3 - 5 PM TO 1			
	成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方	法
授業評価は5月	段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA エンテーション時に学生へ公表、保護者へ報送さ		 前期終了時、後期終了時に実施を行い、:	学習状況の把握を行う。

	丹武駅に関して	
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ		前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
れる。		その他
・成績は5段階で評価を行う A-優秀B-良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50% 未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換: A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出:(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計+総単位数 (履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来 なかった学生のため の再試験を実施。	授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

I

学校名:	大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:スポーツビジネス学科	
教科名 ション	: スポーツビジネスコミュニケー	池田 扶実子 実務経験有	■ 1年前期	
ない マリュ ション・コンド マリュ ション・コンド アリュ きょうしょ アン・コン・コンド アン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン	消費者ニーズを満たすスポーツプ 基本的な理論や考え方を習得 (成績評価の方法・基準) 出席率		是供するための	2単位 32時数
0	授業内容		備考	
1	サービスの定義について			
2	サービスクオリティーについて			
3	サービスの側面と測定について			
4	スポーツマーケティングについて			
5	サービスにおける人の役割			
6	サービスとマニュアル			
7	サービスエンセウンターの役割			
8	フィットネス産業の発展			
9	サービスの実態			
10	サービス内容と運用			
11	会員継続マネジメント(購入理由)			
12	会員継続マネジメント(退会理由)			
13	経済社会の成熟とサービス化			
14	消費者意識の変化とサービスの特質			
15	サービス・エンカウンターについて			
16	サービス・プロフィット・チェーンにつ	いて		
		再試験に関して	成績の評価の方	注
成績評価の基準 受業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。		竹を変えて及して	前期終了時、後期終了時に実施を行い、その他	
成績は5段階で評価を行う =優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50% か		定期試験で合格出来なかった学生のための再 試験を実施。	授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。 業を展開するEXTENSION講座を実施。	姉妹校と共同で、多彩な授

当 拉夕,	 : 大阪ビジネスカレッジ専門学校	拉来也小	学科名:スポーツビジネス 🕏	쓰다
		授業担当	子科名:スポープピジネス	子科
教科名 ション	: スポーツビジネスコミュニケー 	池田 扶実子 実務経験有	■ 1年後期	
五小去	消費者ニーズを満たすスポーツプ	ロダクトを効果的に抗	是供するための	0 ₩ / ' -
到達 目標	基本的な理論や考え方を習得			2単位 32時数
	(成績評価の方法・基準)出席率	筆記テスト		
回	授業内容		備考	
1	サービス・スタッフのマネジメント			
2	サービスの捉え方とサービスの品質			
3	プロモーション戦略			
4	ソーシャルマーケティング			
5	コミュニケーションスキル①			
6	コミュニケーションスキル②			
7	コミュニケーションスキル③			
8	プレゼンテーションスキル①			
9	プレゼンテーションスキル②			
10	プレゼンテーションスキル③			
11	企画書作成①			
12	企画書作成②			
13	企画書作成③			
14	サービス・スタッフのマネジメント			
	フィットネスクラブ施設見学		·····································	
15	スタッフの仕事や対応を見学		レポート提出	
	企画書発表			
16				
		T=4FA/- BB/	上准点三十二十二	->+
	成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方	法
受業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ れる。			前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。	
・成績は5段		定期試験で合格出来な	C 07 (E	
≔優秀B=良い 未満)	0C=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%	かった学生のための再 試験を実施。	10 # 0 10 10 ft o /d	###\# = - ^~, ~
未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換: A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 簡単:(数私のCDA等展ポイン人)、単位数1の全数40全計・総単位数		武歌を夫他。	授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。 業を展開するEXTENSION講座を実施。	姉妹校と共同で、多彩な授

学校名:大阪ビジネスカレッジ専門学校 授業担当 学科名:スポーツビシ			学科名:スポーツビジネス	学科
教科名 (講義)	:フィットネスプログラム	富士 伸之 実務経験有	■ 2年前期	
到達 目標	GFI資格取得にむけた強度を上げる	5プログラム2. 5分のイ	乍成。	2単位 32時数
	(成績評価の方法・基準)出席率	・筆記テスト	1	
回	授業内容		備考	
1	ADI課題 プログラム作成			
2	ADI課題 プログラム実演練習と指導練	習		
3	ADI課題 試験に向けたリハーサル練習			
4	REI課題 プログラム作成			
5	REI課題 プログラム実演練習と指導練	<u> </u>		
6	REI課題 試験に向けたリハーサル練習			
7	SEI課題 プログラム作成			
8	SEI課題 プログラム実演練習と指導練	<u> </u>		
9	SEI課題 試験に向けたリハーサル練習			
10	WEI課題 プログラム作成			
11	WEI課題 プログラム実演練習と指導練	当		
12	WEI課題 試験に向けたリハーサル練習			
13	ADI技試験 筆記試験			
14	REI技試験 筆記試験			
15	SEI技試験 筆記試験			
	WEI技試験 筆記試験			
16				
	成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方	
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。			前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。	
・成績は5段階で評価を行う 定期試験で合格出来な		定期試験で合格出来な かった学生のための再 試験を実施。	その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。	

学校名	: 大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:スポーツビジネス学	科
教科名 (講義)	:フィットネスプログラム	富士 伸之 実務経験有	■ 2年後期	
7.D±	健康運動実践指導者試験の課題曲	に合わせた実演練習		02477
到達 目標	及び、指導循環を実践する力を身につける。			2単位 32時数
	(成績評価の方法・基準)出席率・実技テスト			
回	授業内容		備考	
1	課題運動実演A			
2	課題運動実演A			
	課題運動実演A			
3	· 林区庄 到 大 / 换 /			
4	課題運動実演A			
5	課題運動実演R			
, o				
6	課題運動実演R			
7	課題運動実演R			
	課題運動実演R			
8				
9	課題運動実演A·R			
10	課題運動実演A·R			
11	課題運動実演A·R			
- ''	課題運動実演A·R			
12				
13	健康運動実践指導者筆記試験対策①			
14	健康運動実践指導者筆記試験対策②			
14	健康運動実践指導者筆記試験対策③			
15				
16	健康運動実践指導者筆記試験対策④			
		再試験に関して	成績の評価の方法	<u></u>
	段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA エンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ		前期終了時、後期終了時に実施を行い、学	
れる。			その他	
A=優秀B=良し	階で評価を行う パ=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%	定期試験で合格出来な かった学生のための再		
	ほにより客観的に評価を行う。 換: A=3 B=2 C=1 D=0 E=0	試験を実施。	授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多	
算出:(教科の	GPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数		業を展開するEXTENSION講座を実施。	
(履修登録単位	での総数)			

学校名:	: 大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:スポーツビジネス	学科 ————————————————————————————————————
教科名 (講義)	:スポーツ経営管理	池田 扶実子 実務経験有	■ 2年前期	
	スポーツ経営におけるマーケティ	ング戦力を立てるこん	とができ、	
到達	課題を抽出する事できるための理	論や知識の習得		2単位
目標	(成績評価の方法・基準)出席率	・筆記テスト		32時数
	授業内容		備考	
1	マーケティングの概要			
2	マーケティングの定義			
3	マーケティングミックスの考え方			
4	販売志向とマーケティング志向の違い			
5	マーケティングの課題			
6	マーケティングミックス・製品編			
7	マーケティングミックス・製品編			
8	マーケティングミックス・価格編			
9	マーケティングミックス・価格編			
10	マーケティングミックス・流通編			
11	マーケティングミックス・流通編			
12	マーケティングリサーチの手法			
13	消費者行動とスポーツ観戦			
14	スポーツプロモーション			
14	マーケティング実践			
15				
16	事例研究			
	成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価のフ	
	段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA エンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ		前期終了時、後期終了時に実施を行い、	
・成績は5段 A=優秀B=良い 未満) ・GPA評価制度 Gポイント変	階で評価を行う C=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50% Eにより客観的に評価を行う。 換: A-3 B-2 C-1 D-0 E=0 SPA評価ポイント×単位数)の全教科合計:総単位数 の総数)	定期試験で合格出来な かった学生のための再 試験を実施。	その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。 業を展開するEXTENSION講座を実施。	姉妹校と共同で、多彩な授

学校名:	: 大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:スポーツビジネ	ス学科
教科名 (講義)	:スポーツ経営管理	池田 扶実子 実務経験有	■ 2年後期	
전기,卒	スポーツ経営におけるマーケティ	ング戦力を立てるこ	とができ、	0 出 任
到達 目標	課題を抽出する事できるための理			2単位 32時数
	(成績評価の方法・基準)出席率	・筆記テスト	1	
回	授業内容		備考	
1	市場の細分化			
2	デモグラフィック変数			
3	サイコグラフィック変数			
4	スポーツマーケティング・営利			
5	スポーツマーケティング・非営利			
6	スポーツマーケティングの課題			
7	インタラクティブマーケティング			
	スポーツクラブのクレーム・営利			
8	XVI. 2222000 II IIV			
9	スポーツクラブのクレーム・非営利			
10	スポーツ観戦者の観戦意図要因について			
11	スポーツ観戦者増加プランの作成			
12	スポーツ実施者増加プランの作成			
13	アンケートの作成方法①			
14	アンケートの作成方法②			
	アンケートの作成方法③			
15	7 7 T WIFFWIJTA			
16	事例研究			
	 成績評価の基準	再試験に関して		の方法
	段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA エンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ	T PAUL NEW YORK	前期終了時、後期終了時に実施を行	
れる。			その他	<u>t</u>
A=優秀B=良い 未満) ・GPA評価制度 Gポイント変	階で評価を行う NC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50% Eにより客観的に評価を行う。 換: A-3 B-2 C-1 D-0 E=0 GPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再 試験を実施。	授業の理解度の低い学生対象の補講を実 業を展開するEXTENSION講座を実施。	

学校名	: 大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:ファッションビジオ	ス学科
教科名	: スタイリングI(実習)	牧野 博之 実務経験有	■ 1年前期	
不小去	FAアドバイザーとしての必要なスキル	レ販売知識商品知識接	客用語を身に付け、	0 14 (T
到達 目標	販売職のスキルを身に付ける			2単位 32時数
日保	(成績評価の方法・基準)出席率・詞	課題評価・テスト		32吋奴
回	授業内容		備考	
1	自己紹介とスタイリングシートの説明			
2	自分のファッションMAP作成①			
3	自分のファッションMAP作成②			
4	ファッションテーマの方程式			
5	2018年春夏トレンドについて			
6	スタイリング展示説明とチーム分け			
7	スタイリングイメージ発表 買い付け			
8	スタイリングボード作成			
9	ファッションコーディネイトの5W3H			
10	エレガントイメージコーディネイト			
11	モダンイメージコーディネイト			
12	クラシックイメージコーディネイト			
13	フェミニンイメージコーディネイト			
14	スポーティブイメージコーディネイト			
15	マニッシュイメージコーディネイト			
16	前期試験			
		再試験に関して	成績の評価の方	注
の評価はオリ	及機計画の基準 段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA エンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ	円叫衆に関して	成績の評価の方 前期終了時、後期終了時に実施を行い、	
れる。			その他	

750 KUT IM 45 42	11100000000	120/25 oz 11 lm oz 22 /27
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ	Ē	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
れる。		その他
		授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名:	大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:ファッションビジ	ネス学科
	-	牧野博之		
教科名:	スタイリング I (実習)	実務経験有	■ 1年後期	
	FAアドバイザーとしての必要なスキル		 	
到達	販売職のスキルを身に付ける	アがプレベロ政門口口へ口吸」女	七川田と対に同じ	2単位
目標	(成績評価の方法・基準) 出席率・	田田気圧・ニフし		32時数
	(成績評価の方法・基準)出席率・			
	授業内容		備考	
1	スタイリングプレゼンテーション 前期復習			
2	同調パターンのスタイリング①アイテム			
3	同調パターンのスタイリング②シルエット・柄			
4	アイモデル実践①観察、診断			
4				
F	アイモデル実践②軽いメイク、スタイリング、撮影			
5				
•	体型カバーのスタイリング①シルエット			
6				
_	体型カバーのスタイリング②アイテム、カラー			
7				
8	7 1 2 7 10 7 10 0			
9				
	進級課題①			
10	進級話題①			
	V4. (IT = III BT (A)			
11	進級課題②			
12	進級課題③			
13	進級課題④			
14	進級課題⑤			
15	進級課題⑥			
10				
16	後期試験			
10				
	成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の	 方法
	段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA		前期終了時、後期終了時に実施を行い	 、学習状況の把握を行う。
の評価はオリュ れる。	エンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ		その他	
	階で評価を行う ○C=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%	定期試験で合格出来な		
未満)		かった学生のための再試験を実施。	授業の理解度の低い学生対象の補講を実施	。姉妹校と共同で、多彩な授
Gポイント変技	奥: A=3 B=2 C=1 D=0 E=0	pr-vg人 C 人が0	業を展開するEXTENSION講座を実施。	
算出: (教科の((履修登録単位	iPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 の総数)			

学校名	: 大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:ファッションビジス	ネス学科
教科名	: ファッションマーケティング(実習)	森本 めぐみ	■ 1年前期	
	FAアドバイザーとしての必要なスキ	実務経験有		ı
到達	販売職のスキルを身に付ける	/火災が、小部間四川戦後	台川品で対に刊り、	2単位
目標	(成績評価の方法・基準) 出席率・	課題評価・テスト		. 32時数
回	授業内容		備考	
1	イメージ交換			
2	テイストとは			
3	テイストセグメンテーションマップ作成			
4	市場と消費者、自社と競合			
5	ターゲット分析 MAP制作			
6	マーケティングリサーチ調査手法			
7	マーケティングリサーチ①実施			
8	マーケティングリサーチ①まとめ			
9	マーケティングリサーチ①発表			
10	マーケティングリサーチ②実施			
11	マーケティングリサーチ②まとめ			
12	マーケティングリサーチ②発表			
13	ライフスタイル分析 1			
14	ライフスタイル分析 2			
15	ライフスタイル分析 3			
16	前期試験			
	<u>-</u> 成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方	·
	段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA エンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ		前期終了時、後期終了時に実施を行い、	
	階で評価を行う	- 宇期試験で会校山並た	その他	
A=優秀B=良し 未満) ・GPA評価制度 Gポイント変	**(C = 標準D = 不可(出席50%以上)E=不可(出席50% とにより客観的に評価を行う。 換: A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 GPA評価ポイント×単位数)の全教科合計+総単位数	定期試験で合格出来なかった学生のための再 試験を実施。	授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。 業を展開するEXTENSION講座を実施。	姉妹校と共同で、多彩な授

学校名:	大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:ファッションビジネ	ス学科
教科名:	: ファッションマーケティング゛(講義)	森本 めぐみ 実務経験有	■ 1年後期	
	FAアドバイザーとしての必要なスキ		を用語を身に付け、	
到達 目標	販売職のスキルを身に付ける			2単位 32時数
口信	(成績評価の方法・基準)出席率・	課題評価・テスト		32时效
回	授業内容		備考	
1	オリジナルショッププラン作成の概要			
2	ショップコンセプトの設定			
3	ターゲットについて			
4	商品構成と品揃え			
5	店舗づくり			
6	販売促進			
7	競合店調査			
8	オリジナルショッププラン 発表			
9	オリジナルショッププラン 発表			
10	マーケティングリサーチ③実施			
11	マーケティングリサーチ③まとめ			
12	マーケティングリサーチ③発表			
13	マーケティングリサーチ④実施			
14	マーケティングリサーチ④まとめ			
15	5 マーケティングリサーチ④発表			
16	後期試験			
10				
	成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方	法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ れる。			前期終了時、後期終了時に実施を行い、その他	学習状況の把握を行う。
		定期試験で合格出来な	्ट <i>ज</i> ाए	
=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50% 			授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。 業を展開するEXTENSION講座を実施。	姉妹校と共同で、多彩な授

学校名:	大阪ビジネスカレッジ専門学校	リレッジ専門学校 授業担当 学科名:ファッションビジネス学科		
教科名	: ファッションビジネス I ①②③④⑤	山脇 岩井 鈴木 実務経験有	■ 1年前期	
	ファッション販売能力検定3級試			
到達	10単位		10単位	
目標	 (成績評価の方法・基準)出席率	・課題評価・筆記テ	160時数 -スト	
回	授業内容		備考	
	ファッションとは			
1				
	購買心理			
2				
	素材について			
3				
4	小売業について			
4				
5	店舗ディスプレイ			
3				
6	裾上げ実習			
U				
7	アパレルの分類 1			
,				
8	アパレルの分類 2			
9	商品品質について 1			
10	ファッションマーケティング			
11	商品品質について2			
12	ファッション販売能力検定3級試験対策			
13	ファッション販売能力検定3級試験対策			
14	ファッション販売能力検定3級試験対策			
15	ファッション販売能力検定3級試験対策			
			/	
16	ファッション販売能力検定3級試験対策		(前期試験)	
<u> </u>				
	成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方	 法

成績評価の基準	冉試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ		前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
れる。		その他
A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50% + 洪)	定期試験で合格出来な かった学生のための再 試験を実施。	授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名:	大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:ファッションビジ	ネス学科
教科名	: ファッションビジネス I ①②③④⑤	山脇 岩井 鈴木 実務経験有	■ 1年後期	
到達	ファッション販売能力検定3級試	験対策		10単位
目標	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・筆記テスト			160時数
回	授業内容		備考	
1	パターン知識(チェック・ストライプ)			
2	毛皮の構造と特性			
3	ニットの編み方と組織			
4	フォーマルウェアについて			
5	デニムの生産とディテール			
6	ファッションが教えてくれること			
7	テイスト別ファッションと主なデザイナ	_		
8	ディテールについて			
9	サインスペース実習 1			
10	サインスペース実習 2			
11	サインスペース試験 1			
12	サインスペース試験 2			
13	ロープレコンテスト動画鑑賞			
14	ロープレコンテスト振り返り・セールス	トークについて		
15	ロープレコンテスト振り返り・セールス	トークについて		
16	後期試験			
	成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価のブ	<u> </u> 法
	段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA	136 9000-1240	前期終了時、後期終了時に実施を行い、	
の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う 定期試験で合格出来な			その他	
		定期試験で合格出来なかった学生のための再 試験を実施。	授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。 業を展開するEXTENSION講座を実施。	姉妹校と共同で、多彩な授

学校名:	大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:総合ビジネス	
教科名	: 簿記会計3級(1)	坂本 勝 実務経験有	■ 1年前期	
到達 目標	簿記検定3の取得へ向けて、実力記録を表現して、また。 はまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま はま			2単位 32時数
	(成績評価の方法・基準)出席率	・聿記ナスト	/## -#v	
回	授業内容		備考	
1	損益計算書について			
2	貸借対照表			
3	仕訳と勘定記入①			
4	仕訳と勘定記入②			
5	固定資産			
6	商品売買			
7	未収入金と未払金①			
8	未収入金と未払金②			
	手形取引			
9				
10	商品券・当座借越			
11	仕訳演習①			
	仕訳演習②			
12	IT DIVING IT C			
13	有価証券			
	計算表・精算表①			
14	11972			
15	計算表・精算表②			
16	総まとめ			
10				
Let Mr. Fee	成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方	
	段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA エンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ		前期終了時、後期終了時に実施を行い、その他	子百状沈い把握を仃つ。
A=優秀B=良い 未満) ・GPA評価制度 Gポイント変	階で評価を行う パロ 標準D = 不可(出席50%以上)E=不可(出席50% Eにより客観的に評価を行う。 奥: A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 BPA評価ポイント×単位数)の全教科合計:総単位数 の総数)	定期試験で合格出来 なかった学生のため の再試験を実施。	授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。 業を展開するEXTENSION講座を実施。	姉妹校と共同で、多彩な授

学校名:	大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:総合ビジネス	
教科名	: 簿記会計3級(2)	坂本 勝 実務経験有	■ 1年前期	
到達	簿記検定3の取得へ向けて、実力養	成を行う		2単位
目標			32時数	
	(成績評価の方法・基準)出席率	・筆記テスト		
回	授業内容		備考	
1	勘定科目・仕訳			
2	決算整理			
3	伝票・補助簿①			
	伝票・補助簿②			
4				
5	精算表・貸借対照表①			
6	精算表・貸借対照表②			
7	損益計算表			
	残高試算表①			
8				
9	残高試算表②			
	仕訳			
10	ITBV			
11	過去問題			
11				
12	過去問題			
	3級対策問題			
13				
14	3級対策問題			
	2선 사설 명명			
15	3級対策問題			
16	総まとめ			
10				
	成績評価の甘淮	百試験に関して	成績の評価の方	·>+

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
	定期試験で合格出来	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
	なかった学生のため	その他
・放頼は5段階で計画を177 A-優秀B-良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50% 未満) ・6PA評価制度により客観的に評価を行う。		授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名	: 大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:総合ビジネス	
教科名·	日本の企業経営	倉原 照幸	■ 1年前期	
我17七.	ログの正末性占「	実務経験有	■「午前粉	
	「初歩から学ぶ日本の企業経営」をテー			
到達	「日本の企業経営」の基礎的な知識習得	2単位		
目標	事例考察と企業経営の国際比較を行うレベルまでを目指します。			32時数
	(成績評価の方法・基準)課題レポー	ート・筆記テスト		
回	授業内容		備考	
Ш	技术内谷		1	
1	イントロダクション 授業終了時の到達	目標を提示する	授業の進め方、評価の仕方について説明	
'	現行、起きている社会状況を企業経営の立場	から考察する。		
2	日本の企業経営の歴史①			
۷	概説:幕末から明治前期の経済			
3	日本の企業経営②			
J	明治から昭和の経営者			
4	日本の企業経営③			
4	戦後の日本経営のありかた。高度成長期から	現代の経営手法		
_	企業経営とは何か①			
5	初めて学ぶ日本の経営概論			
^	企業経営とは何か②			
6	社会と経営:企業経営と社会の結び付き	を知る。		
	日本の企業システム①			
7	日本の企業システムの特徴			
	日本の企業システム②			
8	日本の企業システムと海外の比較			
	ベンチャー企業の経営①			
9	日本の企業システムの特徴			
	ベンチャー企業の経営②			
10	ベンチャー企業の展望			
	企業経営(事業考察)①			
11	IT/AI/IOT事業会社をテーマにケース	スタディ		
	企業経営(事業考察)②			
12	注目するスタートアップ企業を考察する) _n		
	国際比較			
13	GAFAのビジネス展開を検証			
	前期総復習			
14	前期のまとめ			
	前期テスト			
15				
16				
		T=150,-181 -	+/± 0==/= 0 +:	, <u>.</u>
应要部/正/上 =	成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法	
	段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA エンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ		前期終了時、後期終了時に実施を行い、	学習状況の把握を行う。 ———

授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ	Ē	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
れる。		その他
・成績は5段階で評価を行う A-優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50% 未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換: A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出:(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)		授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授 業を展開するEXTENSION講座を実施。

### 20	学校名:	: 大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:総合ビジネス	
到達目標 あることから経営者の考え方学ぶことで、その会社の方向性とどう関連していくかを事例を基に学んでいく (成績評価の方法・基準) 課題レポート・筆記テスト 2単位 32時数 回 授業内容 備考 1 事例研究	教科名:	日本の企業経営Ⅱ		■ 1年後期	
目標 あることがら経営者の考えカチかことで、その表柱の方向性ととう関連していてがを事例を基に手がでいて、 (成績評価の方法・基準)課題レポート・筆記テスト 32時数 回 授業内容 備考 1 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 9例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 9例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 1人の経営者を取り上げ、<!--</td--><td rowspan="2"></td><td colspan="3">「経営者の考え方を知る」をテーマに様々な経営者の会社運営について学ぶ。経営者と会社運営は密接に</td><td>0 # /L</td>		「経営者の考え方を知る」をテーマに様々な経営者の会社運営について学ぶ。経営者と会社運営は密接に			0 # /L
(成績評価の方法・基準)課題レポート・筆記テスト 回 授業内容 1 事例研究		あることから経営者の考え方学ぶことで、その	の会社の方向性とどう関	連していくかを事例を基に学んでいく	
事例研究 1 事例研究 2 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究		(成績評価の方法・基準)課題レポー	-ト・筆記テスト		
1 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 2 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	回	授業内容		備考	
1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究	1	事例研究			
2 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 3 事例研究 4 事例研究 5 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 6 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 7 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究		1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	\$`		
1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	2	事例研究			
3		1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	Si.		
1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究	3	事例研究			
4		1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	5.		
1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 5 事例研究 6 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究	4	事例研究			
5 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 6 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 7 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 事例研究 事別 事別 </td <td>'</td> <td>1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ</td> <td>5.</td> <td></td> <td></td>	'	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	5.		
1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 6 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究	5	事例研究			
6 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 7 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 事例研究 ***		1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	5.		
1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究	6	事例研究			
7 1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ 事例研究		1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	5.		
事例研究	7	事例研究			
事例研究		1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	<u>S</u> ,		
Ŏ	8	事例研究			
1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ			<u> </u>		
事例研究 9	9				
1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ			<u> </u>		
事例研究 10	10				
1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ			<u> </u>		
事例研究 11	11				
1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ			<u> </u>		
事例研究 12	12				
1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ			5,		
13 まとめ(1)	13				
これまでの授業の復習と総まとめ					
14 まとめ(2)	14				
これまでの授業の復習と総まとめ					
後期試験 15 	15				
課題レポートによるテスト					
16	16				

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ れる。		前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
1000		その他
 ・成績は5段階で評価を行う A-優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50% 未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換: A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出:(教科のGPA評価ポイントx単位数)の全教科合計+総単位数(履修登録単位の総数) 	の行政がと大心。	授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名:	:大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:総合ビジネス	
教科名:	: 販売士検定対策3級 (1)	森 草輔 実務経験有	■ 1年前期	
到達	小売業・販売ついての知識を習得	し検定取得を目指す	†	2単位
到達 目標				2年位 32時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト			
回	授業内容		備考	
1	オリエンテーション			
·				
2	小売り業の類型(流通における小売業)			
3	小売業の類型(組織形態別・店舗形態別	小売業)		
4	小売業の類型(中小小売業)			
		ds.		
5	小売業の類型(販売経営管理)法令知識	ţ.		
	E 主权尚依押 (计A 古绿体理)			
6	販売経営管理(法令店舗管理) 6			
	販売経営管理(法令店舗管理)			
7	,			
	マーチャンダイジング(MPの戦略・POS!	物流)		
8	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	133767		
	 マーチャンダイジング(商品仕入れ管理	1		
9				
10	ストアオペレーション (SO・包装)			
10				
11	ストアオペレーション(ディスプレイ)	マーケティング(小		
11	売業のMK)			
12	ストアオペレーション(ディスプレイ)	マーケティング(小		
12	売業のMK)			
13	マーケティング((顧客満足・商圏)			
14	マーケティング(リージョナルプロモシ	/ョーン) ①		
15	マーケティング(リージョナルプロモシ	/ョーン)②		
16	まとめ			
	党建設体の甘油	古書 歌に関して	+ 体の平原の土	

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ		前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
れる。	定期試験で合格出来	その他
・ 成績は5段階で評価を行うA=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%	なかった学生のため	授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授
・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換: A=3 B=2 C=1 D=0 E=0		業を展開するEXTENSION講座を実施。
算出: (教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数		

学校名:	:大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名:総合ビジネス	
教科名:	: 販売士検定対策3級 (2)	森 草輔 実務経験有	■ 1年前期	
到達	小売業・販売ついての知識を習得し検定取得を目指す			2単位
到達 目標				2年位 32時数
	(成績評価の方法・基準)出席率	・筆記テスト		
回	授業内容		備考	
1	オリエンテーション			
	+ a T T			
2	小売りの類型(1)小売業とは			
	 小売りの類型(2)組織別、形態別の商業集	語 ①		
3	17元9の泉至区/恒帳が、77窓がの向末来	*1 <u>4</u> ()		
	 小売りの類型(2)組織別、形態別の商業集	[積②		
4				
5	マーチャンダイジング⑴			
5	マーチャンダイジングサイクル・販売・	仕入れ		
6	マーチャンダイジング(2)在庫管理・物流			
7	マーチャンダイジング(3)価格・価格設定と利益			
	フレフナペレーション/1/広续内巻及 左			
8	ストアオペレーション(1)店舗内業務・包装の基本①			
	ストアオペレーション(2)人員配置・LS	S P (2)		
9				
10	マーケティング(1)顧客を主にした経営・	4P理論①		
10				
11	マーケティング(2)マーケティング活動・	業務・開発②		
12	販売経営管理(1)販売員の役割①			
13	販売経営管理(1)販売員の役割②			
	販売経営管理(2)店舗管理・計数管理①			
14				
	 販売経営管理(2)店舗管理・計数管理②			
15				
10	まとめ			
16				
		再試験に関して	成績の評価の方	

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送さ		前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
れる。		その他
・成績は5段階で評価を行う A-優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50% 未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換: A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出:(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計・総単位数 (履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来 なかった学生のため の再試験を実施。	授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名	S:大阪ビジネスカレッジ専門学校	授業担当	学科名 :ITビジネス	
教科	·名:ネットワークセキュリティー①②	服部 久美子 実務経験有	■ 1年前期	
	基本情報処理試験を通して、ネットワーの危険性、技術保守のしくみなどを理解す		を起こる情報セキュリティの危険性、技術	4単位 64時数
回	授業内容		備考	
1	インターネット			
2	ネットワークアーキテクチャ			
3	ネットワークの仕組み			
4	第5部 まとめ			
5	第5部 まとめ			
6	情報セキュリティの概要			
7	情報セキュリティの概要			
8	情報セキュリティ対策			
9	情報セキュリティ対策			
10	第6部 まとめ			
11	データ構造			
12	基本アルゴリズム			
13	第7部 まとめ			
14	総復習			
15	前期試験			
16				
10		T-150/1-881	*** 0 = 1 / 1 / 2 / 1	
成績評価の基準 再試験に関して		再試験に関して		
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。		∸ ₩=±₽> - ^	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習	状況の把握を行う。
A=優秀B= 可 (出席50 ・ GPA評価 Gポイン 算出: (教	5 段階で評価を行う - 良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不 0%未満) 耐度により客観的に評価を行う。 ト変換: A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合 立数(履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のため の再試験を実施。	授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。 彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。	姉妹校と共同で、多

学校名		授業担当	学科名 :ITビジネス	
	右:ストラテジー①②	服部 久美子 実務経験有	■ 1年前期	
	基本情報処理午前問題として出題の基本的理論を学習する。	されるストラテ	- ジ系の内容を通して、企業の経営 	4単位 64時数
回	授業内容		備考	
1	企業活動			
2	経営科学			
3	経営科学			
4	経営科学			
5	法務と標準化			
6	法務と標準化			
7	第1部 まとめ			
8	第1部 まとめ			
9	経営戦略マネジメント			
10	経営戦略マネジメント			
11	ビジネスインダストリー			
12	情報システム戦略の概要			
13	情報システム企画			
14	総復習			
15	前期試験			
16				

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はフリエンテーション時に学生	定期試験で合 格出来なかっ	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
へ公表、保護者へ郵送される。	た学生のため	その他
		授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多
A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満)	施。	彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名	名:大阪ビジネスカレッジ専門学校 授業担当	学科名 :ITビジネス	
	名:マネジメント①②	■ 1年前期	
到達目標	ITパスポート試験のマネジメント対策		4 単位 64 時数
回	授業内容	備考	
1	システム開発のプロセス		
2	システム開発のプロセス		
3	システムの導入と受入		
4	ソフトウェア開発管理技術		
5	まとめ		
6	プロジェクトマネジメント		
7	プロジェクトマネジメント		
8	プロジェクトマネジメント		
9	まとめ		
10	サービスマネジメント		
11	サービスマネジメント		
12	サービスマネジメント		
13	まとめ		
14	復習		
15	期末試験		
16			

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
へ公表、保護者へ郵达される。	格出来なかっ た学生のため	小テスト: 40点 期末テスト: 60点
		その他
	+/-	FOM出版「ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集」 使用